

2025年2月14日

各 位

東京都港区六本木六丁目8番10号
会社名 株式会社モブキャストホールディングス
代表者名 代表取締役CEO 藪 考 樹
(コード番号: 3664 東証グロース)
問合せ先 取締役グループ管理本部長 眞田 和 昭
(TEL.03 - 6820 - 4191)

前期連結実績と当期連結実績との差異に関するお知らせ

本日「2024年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2024年12月期
通期業績につきまして、前期連結実績について差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 当期連結実績と前期連結実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期連結実績 (A)	百万円 3,372	百万円 ▲428	百万円 ▲436	百万円 ▲380	円 銭 ▲8.53
当期連結実績 (B)	3,071	▲157	▲189	▲169	▲3.73
増減額 (B - A)	▲301	270	247	211	—
増減率 (%)	▲8.9	—	—	—	—
(参考) 当期業績予想	—	—	—	—	—

当期業績予想につきましては、当社グループの主要セグメントである IP 投資育成事業につきましては、保有する営業投資有価証券の譲渡の発生時期及び金額を合理的に算出することが困難であること、また、デジタル IP 事業につきましては、自社 IP 創出を推進するものの、予想数値としては適正かつ合理的な算出が困難であると判断し、株主・投資家の方々への誤解を招かないためにも、業績予想値につきましては非開示とさせていただきます

2. 当期連結実績と前期連結実績との差異理由

売上高につきましては、IP投資育成事業が保有する営業投資有価証券を約250百万円で譲渡したことによる売上高が発生しましたが、デジタルIP事業においてライセンスIP事業を譲渡したことによる売上高の減少が512百万円、ライフスタイルIP事業における売上高の減少が44百万円発生したこと等により、全体として301百万円の減少となりました。一方で、営業損失につきましては、上述した営業投資有価証券の譲渡分の他、デジタルIP事業においてはライセンスIP事業に係る売上原価、販売費及び一般管理費も売上高と同様に減少したこと、ライフスタイルIP事業では従来からの主要コスト削減の効果が継続し、売上原価、販売費及び一般管理費が24百万円減少したこと等で、全体として270百万円の減少となりました。そして、これらのことが経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失の減少に繋がっております。

なお、詳細につきましては本日（2025年2月14日）公表いたしました「202年12月期決算短信[日本基準]（連結）」ご参照ください。

以上